

「明日もこの島で農業をしていく」

瀬戸 洋樹（33 歳） 新規参入
（今治市）



1 就農の動機・理由

東京都で会社員をしていた当時、今治市の大三島を訪れる機会があり、後に研修受け入れ先となる自然農法の農家と出会った。

園地の見学中、作物だけではなく周辺環境も含めた循環型農業について熱く語る姿に影響され、農家という生業を目指し今治市上浦町に I ターン就農した。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成 28 年)	現在の経営 (令和 4 年)	将来の経営 (令和 7 年)
労働力	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)
経営耕地	樹園地 38a 水田 11a 畑 19a	樹園地 47a 水田 11a 畑 19a	樹園地 60a 水田 11a 畑 30a
経営内容	野菜 19a 柑橘 38a	野菜 19a (年間数十種類を輪作) 温州ミカン 20a レモン 15a その他かんきつ類 12a	野菜 30a (年間数十種類を輪作) 温州ミカン 25a レモン 20a その他かんきつ類 15a

○農業用施設

農業用倉庫 1 棟
ビニールハウス 2 棟

○主要農業機械

軽トラック 1 台
野菜洗浄機 1 台
管理機 2 台
運搬車 1 台
刈払機 1 台
エンジンポンプ 1 台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 宮城県栗原市

職歴 建設設備メーカー勤務

就農研修歴

べじべじ自然農園

(H26. 5. 1～H28. 4. 30)

就農年月 平成 28 年 6 月

(2) 就農時の思い

初めて自分一人で農作業に取り組むことに対して高揚感があり、同時に研修で学んだ知識や技術を果たして実践できるかという不安もあった。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

今治市上浦町にて、自然農法農家から農作業の手ほどきを受け、園地の管理作業から作物の出荷作業まで一貫して学んだ。

(2) 資金の準備

自己資金に加え、研修時より農業次世代人材投資事業（準備型・経営開始

型)を活用した。

(3) 農地・住宅の確保

就農にあたって、農地の確保には近隣の方から紹介を頂いた。現在の経営農地は全て近隣の方との利用権設定を経て借りている。

住宅は、転入時は市営住宅を利用していたが、現在は近隣の方の所有している空き家を借りて生活している。

(4) その他苦労したこと

私はIターン就農だったので、一番苦労したのは耕作する農地の確保だった。

地域の方々の理解と信頼を得ながら少しずつ農地を確保し、生産基盤の整備を進めた。

5 農業経営の特徴

研修先農家の思想・農法を基本とし、年間数十種類の旬の野菜とかんきつ類を、農薬及び化学肥料を使用せずに栽培している。

販売先は個人や飲食店・八百屋との直接取引のほか、産直サイトを積極的に活用している。

6 これからの夢

知識や技術の習熟度を高めて収量及び所得の向上を図り、今度は私自身が新規就農者の受け皿となれるよう努力したい。

7 成功したキーポイント

これまで営農を継続出来た要因は、先輩方の成功事例に学び、取引先の要求に微力ながら応えられてきたからかと思える。今後も謙虚に営農を続けていきたい。

8 就農を目指す方へのアドバイス

私のようにIターンで就農する場合は、就農先の地域の理解と信頼を得ることが非常に重要です。

時間をかけて仕事以外での近隣の方々との接点を多く持ち、地域に溶け込んだ生活を送られることを望んでいます。

○ 指導機関からのひとこと

瀬戸さんは、明るく、非常にまじめな方で、青年農業者組織や地域の世話も率先して動ける人で、地域での信頼も厚い方です。

今後、この地で農業を始める方の頼れる先輩になってもらえることを期待しています。

執筆機関

東予地方局農林水産振興部今治支局地域農業育成室
しまなみ農業指導班

電話番号 0897-72-2325



圃場の草刈り作業